

様式2

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 静岡県立裾野高等学校

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

1 実践テーマ	【I・II・III】
2 実施対象者	①福祉介護系列生徒（3学年、19名） ②本校生徒（1～3学年、571名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 福祉 ） ② 行事名（ 終業式 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・障害者やパラスポーツへの理解を深める ・挫折や困難に負けず、夢や目標を持ち、挑戦することの素晴らしさを学ぶ
5 取組内容	①12月14日（金） 車いすバスケット経験者3名を講師に招き、講演会と体験会を実施。   ②7月20日（金） 終業式で、パラアスリート（アイスホッケー）による講演会を実施。  

	③その他 オリンピック・パラリンピック関連書籍やサウンドテーブルテニスセットを購入。オリンピック・パラリンピック協議に多くの生徒が関心をもつ機会が増えるよう、福祉科の授業や図書館等で紹介した。
6 主な成果	・2020年に迫ったオリンピック・パラリンピックに関して、行われる競技種目やその内容について、興味や関心を持つことができた。特に、普段見る機会の少ない、パラスポーツについて知ることができた。 ・パラスポーツプレーヤーの話を聞き、挫折や困難に負けず、挑戦することの素晴らしさを学ぶことができた。日々の過ごし方や生き方について、生徒が考える機会となった。 ・生徒の感想（一部抜粋） 【7月20日】 自分を取り巻く環境は自分で変えていくということの大切さを知った。私も環境のせいにして言い訳ばかり言わないようにしたいと思った。夢や目標に向かって、日々をだらだらと過ごさないようにしたい。すぐくためになる話を聞けてよかった。（3年女子） 話を聞いて人生には色々な転機や出会いがあって思いもよらぬ方向に向かっていくことがあるんだと思った。僕はまだ長い人生があるはずだからこの先どんなことが起こるんだろうなと思った。（2年男子） 今回の講演はいつもと違う気持ちで聞けました。それは望月さんがパラリンピックに出場しているすごい選手だからです。1つ1つの話にとっても説得力があり、とても興味を持って聞いていました。また、望月さんの話のおかげで障がい者への見る目が変わりました。（1年男子） 【12月14日】 車いすバスケットボールが低く、ゴールに向けてシュートをしてもなかなか届かず、選手の人たちはすごいなと思いました。（3年女子） 体験をしてみて、思っていた以上に楽しかった。車いすでの移動は大変だけど、それでも運動は楽しいということが分かりました。（3年女子） 難しかった。パラリンピックでバスケットボールを見るのが楽しみです。（3年男子）
7実践において工夫した点 （事業の特色）	7月20日実施の講演会では、校長と講師が知り合いであったことから、インタビュー形式の講演を行った。講師の話を、より身近に感じながら聞くことができた。 12月14日実施の体験会では、競技の体験をすることで、パラスポーツの難しさをするとともに、その魅力を知ることができた。
8主な課題等	今年度は、福祉科を中心に事業を実施したが、他教科や部活動等でも活用し、学校全体でオリンピック・パラリンピックに向けた気運を醸成していきたい。
9来年度以降の実施予定	本年度実施した内容を継続して実施するとともに、オリンピック・パラリンピックに関する知識・思考についての取り組みを充実させていきたい。